

広報

いしかり

平成 22 年 7 月 発行 第 29 号
石狩森林管理署 広報



刈り払い作業も瞬く間に！！

6月23日（水）に、新篠津村上篠津国有防風保安林で、新篠津村上篠津自治会の協力を得て、植樹を実施しました。新篠津村にある防風保安林約37haは、新篠津村長と石狩森林管理署長の間で、「国有防風保安林管理協定」を平成20年12月に締結し、村内の防

国有防風林に植樹

農地とくらしを守る緑を造成

新篠津村

風保安林のパトロールや不法投棄のごみ集め、植樹などを実施しています。今回、上篠津地区において約



カミネツコンに植えられた苗木を植樹

た箇所、電動草刈りで植え付け箇所を刈り払い作業を行い、その後、昨年カミネツコンに植えていたものを植樹箇所並べて設置しました。

参加された皆様の協力により予定時間よりも早く終了しました。

この取り組みは、今後も継続して実施していく予定であり、地域に根ざす防風林の保全に努めていくこととしています。

最後に環境保全会の古林会長から「防風林は農作物の被害を防ぎ、我々の生活に深くかわつており、これからも地域として『保全』に取り組みたい」とお話しをいただきました。

（大江 流域管理調整官）

0.04haにヤチハンノキを100本、約23名が参加し実施しました。現地は、台風等により立木が倒れクマイ笹が多く繁茂してい

「札工専学びの森」 遊々の森協定を締結



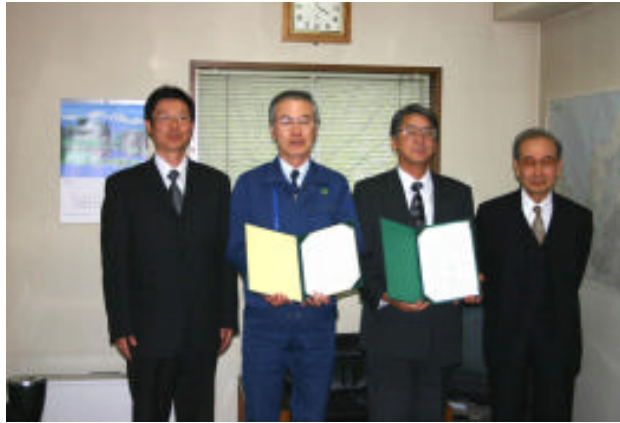
瀬戸口署長（左）と海老名札幌工科大学校長（右）

は、これまでも「野幌国有林」

札幌工科大学

平成22年5月21日
札幌工科大学と、石狩森林管理署は、「遊々の森」の協定を締結し、名称を「札工専学びの森」と命名しました。
協定締結の当日は、海老名優学校長と岩瀬聡教員、非常勤講師の農学博士高橋邦秀、北海道名誉教授3名が石狩森林管理署を訪れ、調印式となりました。

と「千歳国有林」において植生調査及び生育調査等、実習を通じて学習活動を実施、また、支笏湖復興の森づくり育ての親として植林、下刈り等森林復興活動を実施してきました。



左から岩瀬氏、瀬戸口署長、海老名学校長、高橋教授

今回協定を締結した場所は、野幌国有林でトドマツ人工林の植生調査及び天然林内の植生調査、千歳国有林で人工植栽地の生育調査及びクログゾマツを中心とする人工林森林調査等、計45.30haをエリアに平成25年3月まで3年間の活動を予定しています。（大江 流域管理調整官）

静岡県森町飯田財産区議会議員

視察研修

静岡県森町飯田財産区では議会議員を中心に2年に一度林業先進地の視察研修を行っており、今年度は7月15日に石狩森林管理署での実施となりました。
当日は財産区議員9名と事務局2名の総勢11名が来署しました。
最初に署長の挨拶と石狩署の概略説明、引き続き業務第一課長より「管内の紹介」をパワー



挨拶をする瀬戸口署長

ポイントを使用し説明しました。また、流域管理調整官からはH21・H22のアクションプログラムの取り組み結果や今後の予定についての話をしました。森町からは、積丹町・森林農地整備センター・石狩署による「共同施設団地」について説明に、特に関係心があつたようで、経費分担割合などの質問が多く出されました。今後も、より多くの方々に国有林に関心を持っていただくと引き続きPRをしていきたいと思います。



真剣に説明を受けている議員の皆様

（陣内 業務第一課長）

「積丹地域森林整備推進協定 (共同施業団地) 運営会議」を開催



運営会議風景

平成22年7月12日(月)積丹町総合文化センターにおいて、積丹町、札幌水源林整備事務所、石狩森林管理署の三者が集まり、積丹地域森林整備推進協定運営会議が開催されました。

積丹共同施業団地協定締結から3年目を迎え、3団地での作業路網等の整備計画も予定どおり進められており、「婦美丸山地区(石狩署今年度実施予定)」「余別地区(積丹町今年度実施予定)」それぞれ別の地区について進捗状況報告がありました。

間伐材の利用促進の観点から、作業路網の設置については、協定の効果が発揮できる路線配置にするなど、今後の見通しについての報告など、細部についての打ち合わせも行われました。

(大江 流域管理調整官)



H 21 年度に開設された婦美丸山地区作業道

「石狩空知森林行政連絡会議」

が開催される

平成22年6月17日(木)岩見沢市文化センターにおいて、石狩振興局他総勢27名が参加し、森林行政連絡会議が開催されました。

空知森林管理署吉田署長の開催挨拶に続き、昨年とメンバーが大幅に入れ替わったため、各組織ごとに自己紹介が行われました。

また、北海道庁の組織改編に伴い、各支庁が振興局(総合振興局)に、各森づくりセンターが振興局(総合振興局)森林室へ変更になったことに伴い、運営要領の改正を行い、その後、各機関からの情報提供、民国連携の取組など報告の後、意見交換に入りました。

各機関からは、予定時間をオーバーするほど活発な意見が出されました。

(大江 流域管理調整官)



石狩空知森林行政連絡会議

参加組織

空知総合振興局
石狩振興局
後志総合振興局
北海道森林管理局
石狩森林管理署
空知森林管理署
空知森林管理署 北空知支署

「浜益魚つきの 森推進協議会事業」 植樹活動を実施



子供たちも元気に参加

浜益地区内の森林の整備・保全及び環境の保全を推進することを目的とし

な自然を残していきたいと考え、

6月29日（火）に、浜益魚つきの森推進協議会による植樹が、石狩森林管理署毘砂別森林事務所管内の「森の巨人たち100選」に選ばれた千本ナラの麓で行われました。

当協議会は、北海道の「北の魚つきの森」事業に則し、森林が持つている多様な機能が地域住民に理解されていることに基

づき、次の世代に浜益地区内の貴重



猛暑の中の植樹でした

て設立されました。

その後、平成17年7月25日に石狩森林管理署「国有林における森林整備の活動に関する協定」を結び、毎年ミズナラを植樹してきました。

当日は、石狩市立浜益小学校4年生12名及び石狩湾漁業協同組合浜益女性部4名が参加、総勢35名が植樹に参加しました。参加者は、快晴で30度近い猛暑の中汗だくになりながら、ミズナラ15本を植樹し、千本ナラのような雄大な樹木になるようお願いながら帰途につきました。

（古田 浜益上席森林官）

「清流と魚を守る森林づくり」

植樹を実施

7月2日（金）、厚田森林事務所管内243林小班において、石狩湾漁業協同組合、はまなすOB会、石狩振興局森林室、石狩市、石狩森林管理署など、計47名の参加により植樹事業が実施されました。

この取組は、平成20年10月10日に石狩湾漁業協同組合と石狩森林管理署との間で結ばれた協定、「清流を守り豊かな海を育むための森林づくり活動」に基づき、実施しているもので、今



植樹風景

年で3年目になります。14時30分に石狩湾漁協前に集合し、各自車両に分乗し植樹会場へ。植樹した苗木は樹高約1mのハルニレ300本で、主に前年度植栽地の補植を行いました。

植樹箇所は石れきが多く植樹に手間取りましたが、穴掘り役、植え付け役と役割分担等しながら作業を進め、一部下草刈りも実施しました。



当日は非常に蒸し暑く、参加者は汗だくになりながらも、植えた木が、将来、山と海の架け橋になることを願って、一本一本丁寧に植えていきました。

（鎌田 次長）

にれのき会植樹行事開催！！ 森林整備活動も実施 (野幌国有林)

5月21日(金)、野幌国有林において、にれのき会恒例の植樹行事が、にれのき会員(約60名)、北海道森林管理局、石狩森林管理署、事務局長の総勢約76名が参加し、盛大に開催されました。



瞬く間に植樹も終了

は曇り空でしたが、折晴れ間も見え、植樹に適した天候となりました。

候となりました。能勢会長の挨拶にはじまり、

この趣旨に賛同する方を会員とし、会員相互の連絡と連絡協議を図ることを目的としています。

にれのき会は、昭和22年林政統一後の林野庁関係退職者で札幌市及び近郊に居住し、本



樹名版の張り替え作業

山田森林管理局長をはじめ局幹部の紹介、瀬戸口石狩森林管理署長等の紹介後、植樹行事箇所へ移動しました。植樹箇所において、阿部野幌森林官による植樹方法の実演と注意事項の説明を受けたあと、会員各自植樹を開始し、瞬く間にトドマツ、ハルニレ等予定本数250本の植栽を完了しました。

植樹行事の前には、アカエゾマツ人工林の枝打ちと、明治42年開設の野幌樹木園内の樹名版の張り替え作業を行い、快い汗をかくとともに会員相互の親睦も図られた一日となりました。

(大江 流域管理調整官)

国道への合流を安全に

(支笏水明林道出口にカーブミラーを設置)

平成22年5月27日、かねてから、森林ボランティア団体等より要望のあった支笏水明林道から国道への出口にカーブミラーを設置しました。



右からの車がいつ来るかわかりにくい

支笏水明林道は、台風18号により被害を受け、森林ボランティアによる森林再生

の森」として、「CGCの森」「Bの森」「コンサ百年の森」など多くの植樹箇所があるところへ通じる林道です。作業を終えた団体等が帰路につくため林道から国道に出ようとする場所は、従来から見通しが悪く危険な場所として危惧されてきました。



国道の対面側の国有林内に設置

面側の国有林内に設置、さらに国立公園内であることから、環境省支笏湖自然保護官事務所と相談して環境省で統一されている茶色に支柱等を塗りました。

今回設置したカーブミラーは、走りやすくなるように、国道の対



奥まではっきり見えます。

今後は、林道からの出口で、ヒヤヒヤすることも無くなるでしょう。(大江流域管理調整官)

H22 林野火災 消火訓練について



<ヘリコプター用バケツを利用した空中消火>

プにより組立水そうに給水、薬

毎年実施しており、
す当署の林野火災消火
訓練を、5月24日に署
内及び各現場職員を対
象として、野幌森林事
務所部内42林班におい
て実施しました。
当日は曇り空の中、
北広島市消防署・札幌
市厚別消防署・江別市
消防署の方々が訓練状
況の視察にこられ、緊
張した面持ちで訓練が
行われました。
まず、池の水をポン



<ポンプを利用した陸上消火>

併せ
て陸上
消火訓
練とし
て、ホ
ービス
及びユ
ツビ
ーを
使用

用した訓練も行いました。
訓練は万一の火災が起きた場
合の対応であり、出来ることな
ら消火活動を行わないで済みた
いものです。
(陣内 業務第一課長)

剤を混ぜ攪拌し消火薬剤を作製。
その消火薬剤をポンプを利用
し、ヘリコプター用バケツに
補給する空中消火の訓練をし
ました。

近年、国有林内においても火災が
発生しております。次のことに注
意願
います。
山火事注意
タバコの火は責任を持って
後始末をし、吸殻は持ち帰
ること。
ゴミなど投棄せず、ゴミ収
集に出しましょう。

H22年度安全大会 開催される

7月5日、署会議室において
全国安全週間行事の一環として
安全大会を開催しました。
林野庁殉職者への黙祷の後、



安全標語入選作表彰

入っていました。

署長挨拶、局長メッセージ披露、
安全標語入選作表彰等を行い、
午前の部は終了。
午後は、札幌西警察署 飯原係
長から交通安全講話を受け、最
近の事故の傾向は車両と自動車
の接触事故が激増しており、昨
年西警察署管内で発生した死亡
事故事例をボードを使用した死亡
の説明に、職員は真剣に聞き



交通安全講話をする札幌西警察署飯原係長

その後休憩をはさみ、職員を
代表し藤田技官より安全宣言が
なされ閉会となりました。



安全宣言をする藤田技官

(根田総務課長)

濃昼山道保存会

全国森林レクリエーション協会会長賞受賞

この度、第22回森林レクリエーション地域美化活動コンクール（社団法人 全国森林レクリエーション協会）において、濃昼山道保存会（会長 田中 秀隆）が全国森林レクリエーション協会会長賞を受賞しました。

濃昼山道とは、石狩市厚田区安瀬（やすすけ）から厚田区濃昼（ごきびる）にまたがる日本海側に面し、安政4年（1857年）に幕府の北方警備に要路として開かれた歴史的な山道で、厚田から留萌にぬける唯一の重要な生活道路として利用されていましたが、昭和46年の国道231号線開通により通行が途絶え、忘れられた山道となっていました。

保存会はこの忘れられた山道を、歴史的、地理的、教育的意義の大きさから、可能な限り復元、保存し貴重な歴史的遺産として後世に引き継ぐことを目的として平成12年に設立し、以降6年間にわたり倒木や深い笹藪に覆われた山道を切り開き、全長約11kmの山道を三十有余年ぶりに蘇らせました。

平成13年に当署と協定締結し6年間にわたり苦難を乗り越え、手作業による笹刈りや倒木処理などを行い、深い笹藪に覆われ忘れられた歴史的な山道を切り開き蘇らせ、現在も引き続き笹刈り、倒木処理、路肩の補修、清掃など山道の整備、パトロール活動を行いながら、森林環境教育や良好な自然環境の保全に貢献しています。

当署としては、パンフレットを作成し石狩市や関係機関と連携しPRに努めています。

（菊地森林ふれあい係長）



濃昼峠より浜益側を望む（撮影：菊地森林ふれあい係長）

おめでとうございます！！ 永年勤続表彰



6月28日に、石狩森林管理署業務第一課 技術専門官の中山雅裕さん（30年表彰）、野幌森林事務所森林官の阿部直也さん（20年表彰）の二人が、永年勤続表彰されました。表彰のコメントをいただきましたのでご紹介いたします。

勤続30年表彰を受賞して



昭和55年4月1日に北海道（現道管）に採用

林署の仕事の事もよく分からずに翌年には静内営林署（現日高南部森林管理署）に転勤となりました。静内ではなれない山の仕事に、いつ辞めようかいつ辞めようかばかり考えていたような気がします。

楽しいことも辛いことも数多くあり、それでもこの6月8日に勤続30年の表彰を受けることが出来るのは、たくさんの人達に助けられてきたからだと思いい感謝しております。現在は自宅を持ち、子育ても終了し、今後は夢を探して楽しく仕事を出来れば良いと思っております。最後になりますが、式典及び懇親会を開催して下さいました局幹部、そして総務課の方々にお礼申し上げます。
中山雅裕

勤続20年表彰を受賞して



これまで様々なことがありましたが、周囲の方々にかさね支えられて勤めることができました。今後も「感謝」の気持ちを忘れず、業務に励んで生きたいと思えます。

阿部直也

今年度はお二人の方々か永年勤続表彰をされました。今後のお二人の活躍を期待します。
（石狩森林管理署広報委員会）

編集後記

北海道日本ハムファイターズから目が離せない。

開幕からの絶不調で最大1⁴あった負け越しを交流戦以降絶好調で、あつという間に五分にしてしまった。

きら星のような選手はダルビッシュ有投手以外思い浮かばないが・・・。

明らかに違ってきたと思えるのは、チームカラーである繋ぐ野球に徹し、全員野球が戻ってきたことである。選手間の信頼関係が築かれればこうも違ってくるというところか。

情報化時代にあつては、打ち合わせや連絡等により情報の共有を図ることがより重要となり、信頼関係も構築される。広報「いしかり」も及ばずながらその役目の末席を担っているとするれば嬉しい。

強引にこじつけてしまいました。後半戦もガンバレ！

（日ハムファン）

石狩森林管理署広報委員会

委員長 次長

委員 総務課長

流域管理調整官

総務係長

事務局 森林ふれあい係

住所 〒064-0809

札幌市中央区

南9条西23丁目1